

最終日の3日は、休日と重なって各ゲートには開門前から長い列ができ、初日と同じ光景が見られた。会場内は熱気に包まれ、各コーナーに展示されている市場投入が近い車や、出品者にとって実際に売りたい市販モデルにも強い関心が寄せられていた。来場者の反応について各係員は口を揃えて“手応えは充分”と対応に大わらわ。モーターショーが需要喚起の起爆剤となって不景気を吹き飛ばすか。幕張から市場回復の胎動が聞こえてくる。

21世紀を迎え 夢が現実

第33回東京モーターショー・盛況裏に閉幕

総合ショーから初の乗用車・二輪車ショーに衣替えした第33回東京モーターショーは3日、幕を閉じた。会期13日間(22日の特別招待日を含む)の総入場者は138万6400人。不景気という逆風下での開催としては予想以上の盛況だった。また、新しい世紀に“くるまはどう変わるか”に強い関心を持った国内外の報道陣はプレスデーだけで1万3500人を数え、これまでの最高を記録。特に毎回、先進技術を豊富に公開する東京ショーを目指して来日した外国報道陣や自動車メーカーの首脳陣、エンジニアなどが多数来場し、国際色を一段と彩っていたのが特徴だ。

展示内容も次世代を意識した内容が多く、先進技術に挑戦したコンセプトカーや、くるまの持つ楽しさを提案した様々なニューモデルで来場者の夢を誘うなど、ショーの雰囲気を高めていた。国内ブースで目立ったのは、環境対策の切り札として欧米に先駆けて実用化したハイブリッド車を中心に、究



極の燃料電池電気車まで完成度の高い技術を公開、欧米の来場者を驚かせていたようだ。

外国ブースは、ダイムラー・クライスラーなどに代表されるビッグで華麗なスポーツカーを軒並み展示、若者た

ちの人気は上々。

不透明な世の中だけに夢と楽しさを追う人たちが多く、連日楽しんでいたとの印象が強い。この意味で東京モーターショーは21世紀への新しいステージの役割を演じていたとも言えよう。



夢と楽しさを乗せて

社団法人自動車工業振興会
専務理事 石川 越夫

第33回東京モーターショーは、本日午後7時滞りなく全日程を終了することができました。これも出品各社はじめ、多くの関係者の皆様のご協力のおかげと深く感謝いたしております。

今回は商用車を分離して乗用車・二輪車ショーとして初めて開催、138万6400人のお客様において頂くことができました。

お越し頂いた皆様には、来るべき21世紀に向かって走り出そうという出品者の意気込みと、くるまは夢と楽しさを創り出す源であることを実感して頂けたのではないのでしょうか。

これがモーターショーの魅力であり、多くのお客様が足を運んで下さった理由でもありましょう。

会期中、現職の首相としては初めて小淵恵三内閣総理大臣が来場されるなど、多くのご来賓をお迎えできたことは主催者として喜びに堪えません。

次は2000年、商用車ショーとなります。ここ幕張メッセでお会いできますことを祈念して、お礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。



3日の入場者数

150,700人

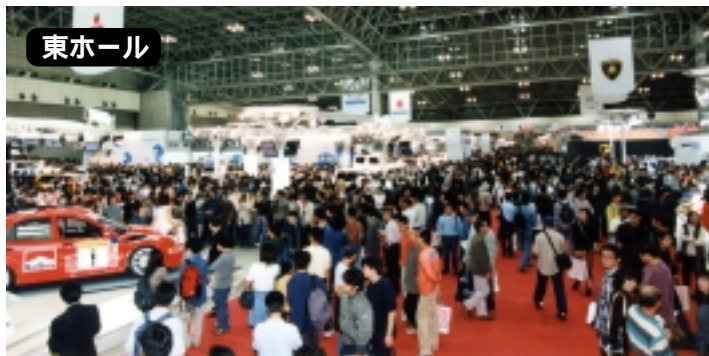
第33回東京モーターショー
入場者数総累計 1,386,400人



「日本のくるま100年 過去は未来のヘッドライト」をテーマに懐かしい車やカタログを展示、中高年層に好評だったテーマ館

連日にぎわいをみせた各ホール

東ホール



中央ホール



西ホール



北ホール



第33回東京モーターショー・入場者数

月 日	天 候	入場者数	累 計
10月20日(水)(プレスデー)	雨/曇	6,800	6,800
10月21日(木)(プレスデー)	晴	6,700	13,500
報道関係者動員数合計		13,500人	
10月22日(金)(特別招待日)	曇	41,300	41,300
10月23日(土)(一般公開日)	晴	110,400	151,700
10月24日(日)(一般公開日)	晴	135,900	287,600
10月25日(月)(一般公開日)	晴	82,600	370,200
10月26日(火)(一般公開日)	晴	83,300	453,500
10月27日(水)(一般公開日)	雨	88,300	541,800
10月28日(木)(一般公開日)	晴	84,200	626,000
10月29日(金)(一般公開日)	晴	84,900	710,900
10月30日(土)(一般公開日)	晴	145,800	856,700
10月31日(日)(一般公開日)	曇	181,300	1,038,000
11月1日(月)(一般公開日)	雨/曇	94,800	1,132,800
11月2日(火)(一般公開日)	曇	102,900	1,235,700
11月3日(水祝)(一般公開日)	晴	150,700	1,386,400
一般来場者数合計		1,386,400人	

主なVIP来場者一覧(順不同)

- 10月20日 ミャンマー第二工業省大臣
ソー・ルイン少将閣下
ミャンマー第二工業省副大臣
ウ・ティン・トン閣下
タイ前財務大臣
スラクアルト・サティラタイ閣下
タイ工業省工業大臣
スワット・リップタバノロップ閣下
タイ王国大使館工業部・公使参事官
ノンヌッチ・インカワラ 様
エクアドル大使
ホアン・サラサール・サンチシ 様
エクアドル大使館・一等書記官
ヘルマン・エスピノーサ 様
ブルガリア共和国大使
ペータル・アンドノフ 様
シカゴオートショー会長
ビル・ステイセク 様
シカゴオートショー共同会長
マイク・クック 様
シカゴオートショー社長
ジェリー H・サイゼック III 様
- 10月21日 環境庁長官
清水 嘉与子 様
イタリア自工会会長 / OICA 会長
エミリオ・ディ・カミロ 様
パリモーターショー広報担当部長
ジャン・ピエール・メルシエ 様
- 10月23日 フィリピン共和国大使
ロメオ A・アングェリエス 様
フィリピン共和国 通商・産業省次官
D.B. フォナンシア 様
- 10月26日 運輸政務次官
鈴木 政二 様
環境事務次官
岡田 康彦 様
- 10月27日 タイ王国大使夫人
ベンチャバ・クライリクシュ 様
タイ王国枢密院顧問
サベータシラ 様
衆議院議員
青山 二三 様
参議院議員
松 あきら 様
参議院議員
森本 見司 様 他
- 10月30日 ユーゴスラビア連邦共和国大使
ラドスラフ・ブライエッチ 様
- 11月1日 エストニア大使
マーク・シニソー 様
- 11月2日 パリモーターショー事務局長
ティエリー・エス 様



寛仁親王同妃両殿下



小淵総理大臣



深谷通産大臣



清水環境庁長官

22日の開会式当日には、寛仁親王同妃両殿下、小淵総理大臣をはじめ、多数のVIPの方々にお越し頂きました。

編集後記(社)自動車工業振興会 資料部長 鶴澤 隆

幸い編集室には展示ホールの喧噪が届かない分、会場の熱気や殺気を伝えられたか、心配です。小さいながら根気の要る毎日の日・英両版の紙面作りをして戴いたスタッフの皆さん、最終(15)号まで無事漕ぎ着けたことに深く感謝致します。また、本紙をご覧になって戴いた関係者の皆様に幾許かの参考になった、と信じつつ、再見。

写 真 撮 影：斉藤写真事務所 浦部/中島/斉藤
翻 訳：株式会社青松社 小林 憲夫/マイケル・カビー
デザイン&DTP：株式会社フォレストアート 澤登 保典